

令和2年12月2日（水）14：00～16：00
浦添市産業振興センター—結の街・ZOOM 研修

令和2年度 多職種連携研修会<浦添市介護支援専門員従事者研修>
アンケート集計結果

<回答率：38名／52名（73%）>

1. 職種

保健師：2名、看護師：4名、主任介護支援専門員：9名、介護支援専門員：12名、
理学療法士：1名、社会福祉士：5名、福祉用具専門員：1名、医療ディラー：1名、
生活支援コーディネーター：1名、その他：1名、未回答：1名

2. 本日の研修会の内容（内容、時間配分等）はどうでしたか。

（大変良かった⇒15 良かった⇒13 どちらでもない⇒2名 あまり良くなかった⇒1名
良くなかった⇒0名 未回答⇒0名）

- ・コロナで色々不安になっている中で標準予防策について、みんなで考える良い機会になったと思います。
- ・コロナ対策について、みなさん同じように悩んでおり、これからも続くことを共有できてよかった。
- ・全グループ発表していません。今回Fグループでのグループディスカッションだったのですが、プログラムに組み込まれている通りではありませんでした。慣れない環境での試みはあったと思いますが少し残念です。
- ・感染対策について、いろいろな情報が氾濫している中、専門職として豊富な経験をお持ちの原國氏の講義が聞けて、とても参考になりました。
- ・感染予防についての啓もう活動。身近な人との知識の共有。持続換気をする。
- ・マスク・手洗い、ソーシャルディスタンスを持続する。
- ・時々電波が悪く聞きづらい面や画面を通じて感想を伝えることに緊張がありまとめて伝えるゆとりがありませんでした。次回は慣れることが大事と実感でした。研修の内容はよく、特に原國先生の講話はとても大事なことを教えて下さった気がします。
- ・本日は研修会に参加させて頂きましてありがとうございました。日々、新型コロナウイルス感染症重症患者さんの治療に取り組まれている原國先生の、現場での貴重なお話を拝聴し、大変勉強になりました。もっと広く大勢の県民が先生の講師を聴ける機械があればいいのにと思いました。
- ・自分の家族が感染した場合の対応を事前に決めておくことは本当に必要だと感じました。また手洗い、消毒、感染対策の大切さを改めて感じました。
- ・PCR検査の現状、感染症の感染経路、感染症予防の必要性（なぜ必要なのか？）等を詳しく、分かりやすく聞けて良かった。
- ・改めて新型コロナウイルスの感染について学ぶ機会になり良かった。
- ・ズームのパスワードが届かず、スムーズではなかったです。2hの研修はちょうど良い時間でした。ワーク時間が分かりづらくどうしていいか分からなかった。慣れが必要なのでこれから学びます。先生の講義内容は良かったです。スタッフのがんばりに患者さん家族のために。。。がんば

るけど、そのために伝えていかないといけないこともある。医療会議従事者がだけでなく、皆でがんばる事が伝わった。

- ・原國先生の講義大変勉強になりました。ありがとうございます。PCR 検査で陰性でも安心できないと感じた。日頃から消毒、マスクをして対策しないといけないと感じた。グループワークは中途半端に終わった。終了時間残り何分とかアナウンスがあった方が良かった。
- ・正しい知識を身に付ける。土台作りから始めていくことが重要だと気付きました。
- ・日頃から基本的な感染対策（毎日の体調チェック、手指消毒、換気、マスク着用）は行っています。大変勉強になりました。
- ・コロナに関しては不安はつきないと思います。今回の研修でみんなで改めて感染について学べて悩みも共有できたのでよかったです。
- ・あつという間の2時間で充実した内容でした。
- ・感染に対する講義内容は良かった。講義の時間、質問の時をもっととった方がよい。Gワークの内容が？リモートでやる研修会の段取りが悪い。
- ・研修始めのアンケート結果報告は特に必要ないかと感じました。原國先生のお話、とても勉強になりました。
- ・アルコール消毒がなあなあになっていたのが、利用者宅訪問前等、そのつど行っていく事が大切だとあらためて実感。
- ・原國先生の話はわかりやすくなった。
- ・感染症 正しく恐れて下さいと聞きますが、現場の話聞かせて頂き、大変勉強になりました。浦添総合病院では重症の方も家族との面会を行なっている事を聞き、プロの仕事のスゴさを感じました。
- ・標準予防策につける。陽性かもしれない可能性をもって行動する。
- ・コロナウイルスと共存するために、ウイルスの情報、皆様のご意見、参考になりました。
- ・正しい情報を理解し、利用者へ伝えていくことが大切さを学べた。対応方法の統一したペーパーがあれば自分も自信をもって利用者に伝え実感もできるのでありがたいと思った。
- ・すごくわかりやすく、コロナ予防に対しての知識が深くなりました。
- ・アンケートは文を読み上げるだけなので、少し違う形にした方が良いのでは？
- ・コロナについての説明はとても良かった。実際にマスクや対策などのダメな物や買っても意見が無い物等も活かしてほしかった。
- ・浦添総合病院でコロナ感染者への家族の面会ができていて講師の話は予防をしっかりすることでできることを知り、これらの日常生活も皆で協力することで感染以前の生活が取り戻せそうな明るい気持ちになった。
- ・リモートのグループワークは皆さんの顔も余り見えないこともあり、意見が聞き取りづらかった。講義は大変良かったと思う。グループワークからの意見や質問を講師の方とやりとりができるのもっと良かったと思う。現場で困っていることはあると思うので。
- ・コロナ対策、必要な連携が把握できた。
- ・時間的に参加しやすかったです。グループ討議の時、話題の内容が広くてイメージしづらかった。

3. 本日の研修で学んだことが、今後の実践の場面（医療と介護の連携など）で活かそうですか。

（できそう⇒26 まあまあできそう⇒9 どちらともいえない⇒0

あまりそう思わない⇒0 そう思わない⇒0 未回答⇒1）

- ・感染対策の必要性の啓もう活動（一般介護予防教室など）
- ・できそうなことを考える（コロナの中でも）
- ・ただただ「手洗い」「マスク」ではなく、根拠を考えようと思います。どのような対策を取ったらいいか、今できることを私だけでなく相手の協力も得ながら検討していきたいと思います。
- ・マスクを利用者の分までもっていく。
- ・ゴミ箱を個別ごとへ。換気。
- ・今一度、感染対策について事業所内で確認し「うつさない、うつらない」を徹底していきたい。
- ・デイサービスと入所施設との情報の共有の大切さ、正しい知識と理解が必要。随時新しい情報が得られる環境を得ていく必要があること。防止対策の「みえる化」に取り組みたい。職員、利用者、家族、ケアマネ、往診咲きなど情報の共有する手段を決める。
- ・最後のまとめで原國先生が仰った、感染した際のシュミレーションを家族単位、職場単位で個々が考えておく事は、是非取り組んでみたいと思いました。
- ・今回の講義内容を広めていくことで、本人・家族に限らず全ての地域住民が安心した生活、生活負担につながるのではないかと思ったので頑張って伝えていこうと思います。
- ・※感染対策の実施、自己管理（アルコール、マスク）（プライベートでも自己管理）
- ・講義で学んだこと伝えてみます。実際に対策として取り組んでいる事、本人、利用者さんの対策や体調を伝え新規利用者受け入れスムーズにできるよう受け入れ先を調整していきます。なかなかスムーズな受け入れ体制がないので今日学んだ事を発信していけるようにします。
- ・メンバーのそれぞれの対応は参考になりました。当方に不足していた部分は活用していこうと思います。
- ・これまで通り自分達が出来る感染対策の継続とご本人やご家族にも家族間に陽性者が出た場合を想定しての対策を考えていただくように声かけする。
- ・しっかり予防（おたがいに～）をして、のうこう接触をつくらない！
- ・サービスと共に安心を提供できるための方法。標準予防策と統一した共通認識を持つことを継続したい。
- ・認知症の方の対策はどうしたらいいか。
- ・コロナになったらどうするのかのシュミレーションをすることで予防への理解やなったときの
- ・コロナ感染対策→利用者訪問時、担当者会議の時の対策など。→施設等への対応策についての情報共有。
- ・各関係事業所とも情報共有し、利用者、家族の不安や介護負担の軽減ができるのでは。
- ・利用者宅訪問時に今回学んだ事を伝えながら、目、鼻、口はきれいな手でさわると感染しない、体調が悪い時は休みます。休ませます、PCR検査が全てではない事、もしなった時はどう対策をするか、それぞれのパターンを考えてみる、もらう
- ・コロナになったらどうするのかのシュミレーションをすることで予防への理解やなった時も慌てないようにする。不安の軽減にもなる。
- ・職場への電話を業務用携帯にかけてもらう。
- ・あらためて手洗いの大切さ（ウイルスの生きている期間）関わる相手へも感染予防を声かけする。

- ・正しい知識を学んで実践すること。悩んだときは医師会に相談等確認作業をしていくこと。
- ・検温だけでなく体調のチェックの徹底。
- ・他の方の意見を聞いたり、原國氏の話聞いてできることから行っていこうと考えた。
- ・電話機消毒。
- ・窓等の換気は常にしておく。
- ・基本的なマスクの着用、ソーシャルディスタンスを保つ、三密、手洗い等の徹底を発信し続けている。職場内でも情報を共有していく。
- ・家族をふくめ、身近な人へ正しい知識の伝達をしたい。
- ・不要不急の行動制限、訪問時の対策。
- ・コロナ感染症について正しい知識を職員間で共有し利用者、家族に伝えていく（守って欲しい事等）通所系サービスなので。

4. 新型コロナウイルス感染症対策等について、講師へのご質問や困っていること等があれば、お聞かせください。

- ・新型コロナウイルス感染症の症状で下痢の症状の方もいらっしゃるのですが治癒した後、排泄物（便）へウイルスの排出は続きますか？手足口病のように数週間とかウイルスが存在するとか？感想の続きですが、入院中の患者さんと家族が面会できるよう取り組まれていることに感銘しました。またコロナに対して少し気が緩んでしまっていたので、「頑張るのが医療従事者だけではダメなんだ」との言葉に、改めて感染予防の徹底を図り、周りの人にも声掛けしていこうと思います。
- ・特にありません（良い意味で）ありがとうございました！！
- ・訪問時マスク未使用の方が多い。→マスク着用をお願いを徹底していますが未着用の高齢へどう説明したらいいか？
- ・事務室内、人とのキョリ2M確保、机間にビニールシールドと窓2方向あけて換気しているなか、仕事をしていて誰かが感染もしくは濃厚接触者になっても他職員は症状なければ濃厚接触者にならず勤務可能でしょうか。事務室内でマスク着用しているが飲食あり。
- ・原國さん、いつもありがとうございます。
- ・個々が予防意識を持って行動している中で、認知機能問題で予防対策に取り組むことが困難な方の予防についての現場の声がありました。
- ・どこまで気をつけて、どこまでストレスを発散できるか？（不安になりすぎて出られなくなる）
- ・現場の状況を知ることでき、とても良かった。地域の方への講話も機会が作れると思った。
- ・家族、特に男性は注意してもカラオケ、飲み会に参加している。何度話しても「インフルエンザと同じだろー」の返事。困ってしまう。

5. 今後の研修会について、取り扱ってほしいテーマや開催日時についてご要望等があれば、お聞かせください。

- ・家庭内での予防の具体策・・・家庭内感染が増えているから。
- ・組織行動学について
- ・地域住民（自治会長や民生委員など）参加型の研修
- ・今回の講義内容は専門職だけで共有したので地域の方が参加することで第3層レベルで周知できたのかなと思った。（従事者ではないからダメかな??）
- ・コロナでの離職者への支援や弱者に対する支援（子ども～高齢者まで）

- ・ブレイクアウトの終了前カウントを入れて欲しい。
- ・地域包括ケアシステムについて
- ・ちょうど良い時間帯でした。
- ・精神疾患をもつ高齢者とその家族へのサポートについて。
- ・この時代（コロナ流行）なので、是非ビデオでもいいのでコロナの患者さん看取り、先生のお話の中にあつたFa（家族）のケアについて、現状を聞いてみたいと思いました。
- ・感染対策（日常生活）をどのようにするか。空気感染という日常にあたりまえにある中での。
- ・コロナ禍で閉じこもりがち生活から少しでも活動的な生活を取り戻せるようにするには。
- ・浦添市の介護保険料（基準額 6,770）今後ますます高齢化予測される中、私達にできることは？
（地域包括システムとの関係なども入りながら）